

## お知らせ

- ・ 女性学長国際シンポジウム報告書が出来上がりました

## 德音塾

- ・ お茶大女性リーダー育成塾: 德音塾 2024年度後期活動報告と2025年度の講座案内

## 開催報告

- ・ みがかずば研究員交流会
- ・ IGLセミナー  
「『自分らしさ』に囚われない—踊る尼のメキシコ・サバイバル—」
- ・ IGLセミナー  
「グローバル企業における女性のキャリア形成とワーク・ライフ・バランス DE&I」
- ・ IGLセミナー  
“International Perspectives on Diversity: Exploring Voter Preferences and Multiracial Coalition-Building in Britain and New York City”
- ・ IGLセミナー  
「グローバル企業における女性のキャリア形成とワーク・ライフ・バランス」
- ・ IGL国際シンポジウム  
“Multicultural Coexistence and Development of Leadership under Globalization”  
（「グローバリゼーションのもとでの多文化共生とリーダーシップ」）
- ・ IGLセミナー  
「女性のキャリア形成 ～弁理士・知財業界の世界～」
- ・ IGLセミナー  
「ジェンダー平等社会の実現を目指して: 縮まらないジェンダー格差: 要因と未来への道筋 ジェンダー法学の視座から」
- ・ IGLセミナー  
「ジェンダー格差はなぜ維持されるのか: 社会心理学の視点から格差維持の心の仕組みを考えてみる」

## 後期授業報告

- ・ グローバル・リーダーシップ実習 I・II
- ・ ダイバーシティ論
- ・ 女性のキャリアと経済
- ・ 女性のキャリアと法制度
- ・ アカデミック女性リーダーへの道(応用編) 1/29, 30, 31

## 2025年度IGL関連授業

- ・ 2025年度前期・後期授業

## 研究所から

- ・ 若手研究者支援説明会
- ・ イベント開催  
J-Win主催「企業の女性リーダーを身近で知るチャンス!」
- ・ 新しい図書が入りました

## お知らせ

### 女性学長国際シンポジウム報告書が出来上がりました

- ◇ 女性学長国際シンポジウム「アカデミアにおける女性のリーダーシップとDE&I  
～女性学長が目指す21世紀に輝く大学教育～」報告書

#### 【開催日時】

2024年3月15日(金) 13:30~15:30

#### 【講演者】

パオラ・ベルナルディ コッレージョ・ヌオーヴォ学長(伊)  
エリザベス・ブラッドレー ヴァッサー大学 学長(米)  
佐々木泰子 本学 学長



2024年度の塾生数は470名となりました。今年度の特徴は、コロナ後はじめて対面方式での講座を開催したことや、塾生同士の交流会を4回行ったことが挙げられます。塾生からは、様々な職種・世代の塾生との意見交換やグループワークがとても刺激的だったとの反響がありました。また、従来のオンライン方式の講座は、遠方から気軽に参加いただけることや、育児休業期間を用いた学びの機会として定着しております。

5月に開催された小児科医・脳科学者の成田奈緒子氏による特別講演には140名の参加があり、徽音塾を広く一般の方々に知っていただく良い機会となりました。

2025年度の徽音塾は新たな講座が満載です。女性のリーダーシップ育成に焦点をあてた全14講座は、初登場となる先生方の講座や、一つのテーマを理論と実践の両面からアプローチするセット講座など、どれも魅

力あふれるおすすめの内容です。また、講座の時間枠（90分または180分）を2種類にする、土曜日以外の平日晩（19時から20時30分）の講座を設けることによって、塾生のみならずご参加いただきやすい体制を整えております。これらに加えて、今年度好評をいただきました交流会や特別講演の企画を進めながら、徽音塾全体の一層の充実をはかってまいります。

2025年度説明会を2025年4月5日（土）にオンラインにて開催します（参加費無料、要事前申込）。詳しくは徽音塾のWebサイトをご覧ください。皆さまのご参加をお待ちしています。

文責：倉脇 雅子  
（グローバルリーダーシップ研究所  
特任アソシエイトフェロー）



### 2024年9月～2025年2月開催の講座

講座番号	日付	講義タイトル	講師名
B01	2024/9/21, 28	起業・新規事業開発に効く！イノベーション創出の知識と視点	鹿住倫世
P05	2024/10/5	「空間」を媒介に、現代社会や都市のアップデートを考える	藤山真美子
B02	2024/10/19, 26	強みを活かしたキャリアデザインとリーダーシップ	重次泰子
B03	2024/11/9, 16	いちばんやさしい脱炭素社会—カーボンニュートラルの最前線—	松田有希
B04	2024/11/30, 12/7	マーケティング入門	神原理
B05	2024/12/14, 21	働く女性のための会計学 会計基礎力を身に付ける—取引記録の仕組みと企業活動の成績表—	櫻井康弘
B06	2024/2/15, 22	働くあなたを守る、知っておきたい労働法	内藤忍

「P」…お茶大プロフェッショナルレクチャー

「B」…ビジネス講座

### 北区主催 まなびフェスタに行ってきました！

2025年3月2日（日）、北区赤羽会館にて開催された、「第1回まなびステップアップフェスタ」（北区教育委員会主催）に参加し、徽音塾ならびに2025年度の新講座の紹介を行いました。近隣ということでお茶大卒業生や育休中の女性、「妻から頼まれました」といってパンフレットを持ち帰られた男性など、多くの方々とお話しすることができ、皆さまが関心を寄せておられることを実感しました。



## 2025年度開催概要(曜日・時間・開催方式)

平日 19:00~20:30(90分)  
 土曜日 13:30~15:00(90分)  
 土曜日 13:30~15:00、15:10~16:40(90分×2、10分休憩あり)  
 方式 オンラインと対面(対面会場はお茶の水女子大学)  
 ※1科目から受講いただけます。  
 ※申込み締切は各講座の2週間前となります。  
 ※最新情報は徽音塾ウェブサイト・SNSをご覧ください。



◇新しいパンフレットができあがりました。

◇ご参加をお待ちしております。

区分	日付	曜日	開催方式	講義タイトル	講師		
New	E01	5/10	土	1回180分	対面・オンライン	国境を越えた社会起業家としてのあゆみ—ルッキズムについて考えよう—	前川 裕奈
New	E02	5/24	土	1回180分	対面・オンライン	人的資本経営のトレンドと主要トピックス—要点解説と考える視点—	大和田 順子
	P02	6/7, 14	土	2回180分	オンライン	CN/GXの最前線—脱炭素社会の実現を目指して—	松田 有希
New	P03	6/21	土	1回180分	オンライン	教育の課題をジェンダーの視点から考える	小玉 亮子
New	E03	7/5	土	1回180分	対面・オンライン	日本の女性の働き方はどう特徴づけられるのか	永瀬 伸子
New	E04	7/12	土	1回90分	オンライン	しなやかに組織で道を切り開く	矢島 美代
New	B01	7/19, 26	土	2回180分	オンライン	ビジネスリーダーのための会計入門	成岡 浩一
	B02	8/2, 23	土	講義180分	対面・オンライン	新規事業開発と起業の基本—事業化のカナメ—	鹿住 倫世
New		8/23	土	講演90分・講義90分			
New	P04	8/8	金	1回90分	対面・オンライン	組織における女性リーダー育成—日本企業の課題—	寺村 絵里子
	B03	9/6, 20	土	2回180分	対面・オンライン	リーダーのためのコーチング講座	重次 泰子
New	P05	10/4	土	1回180分	対面・オンライン	イノベーションの創出—建築デザインを通して考える—	後藤 武
	B04	10/18, 25	土	2回180分	対面・オンライン	マーケティング入門	神原理
New	E05	12/6, 13	土	2回90分	対面・オンライン	経営戦略としてのコーポレートガバナンス	田中 亨子
	P01	1/17, 24	土	2回180分	対面・オンライン	働くあなたを守る、知っておきたい労働法	内藤 忍

「E」…女性のエンパワメントとリーダーシップ講座  
 「P」…お茶大プロフェッショナルレクチャー  
 「B」…ビジネス講座

## 開催報告

### みがかずば研究員交流会

本学では、優れた女性研究者の継続的な研究活動を支援し、女性研究者が研究中断後に円滑に現場復帰する機会を提供するために、独自の特別研究員(呼称:みがかずば研究員)制度を導入しています。

2024年度は前期後期合わせて11名が採用され、研究に取り組むとともに、研究員同士の交流の場として年に2回の交流会を開催しています。

今年度は、第1回みがかずば研究員交流会を9月13日、第2回を2月10日に開催しました。研究員が主体となり企画と運営を行い、研究分野の異なる他の研究員や研究所所属の先生方との意見交換を通して、自身の研究を客観的に見つめ直す有意義な会となりました。

グローバルリーダーシップ研究所では今後も半年に一度を目途に交流会を開催する予定です。

(参考) 女性研究者のための研究継続奨励型「特別研究員制度」(呼称「みがかずば研究員制度」)の創設  
 HP:<https://www.cf.ocha.ac.jp/igl/j/menu/introduction/d003276.html>

文責:幸村 凧紗  
 (企画戦略課 男女共同参画担当 係員)



「やりたいことがわからない」、「結婚や育児を考えるとキャリアプランが立たない」と悩む女子大生は多く、悩んでいる間にも時間はどんどん過ぎていく。そんなときは、からだの声に耳を傾け、自分の中の「野生」を目覚めさせましょうと横尾氏はいます。無理に自己肯定感を高めたりする必要などなく、どんな人でありたいかという「誓願」を立て、あとは雲の如く、水の如く、流れに乗れば自ずとチャンスが広がるとも説きます。セミナー開始直前の会場では、メキシコ国立自治大学との共同制作動画の上映があり、絵の具を頭からかぶるパフォーマンスの様子が披露されました (<https://www.cf.ocha.ac.jp/igl/j/menu/event/d014895.html>)。また、在墨邦人向け雑誌の連載記事から、ジェンダーに関連したご自身のエッセイの配布もありました。講演では、お子さんと共に実演中のもの、身を乗り出して聞き入る南米の子供らに囲まれ紙芝居上演中のもの、袈裟を

まとって結婚式を授ける様子のもので、満面に笑みを浮かべた人々の写真を数多く見せていただき、エピソードを力強く語っていただきました。終了後は、時間の捻出方法等、多くの質問が寄せられ、横尾氏からは丁寧な回答が得られました。事後アンケートでも、パワフル、刺激を受けた、ものすごいエネルギーをいただいた、充実した時間だった等の感想が寄せられました。

文責：洲崎 圭子  
(グローバルリーダーシップ研究所 研究協力員)



お茶の水女子大学  
Ochanomizu University

## 「自分らしさ」に囚われない

—踊る尼のメキシコ・サバイバル—

「やりたいことがわからない」、「結婚や育児を考えるとキャリアプランが立たない」と悩む女子大生の悩みが多いようです。そんなときは、からだの声に耳を傾け、自分の中の「野生」を目覚めさせましょうと横尾氏はいます。無理に自己肯定感を高めたりする必要などなく、どんな人でありたいかという「誓願」を立て、あとは雲の如く、水の如く、流れに乗れば自ずとチャンスが広がるとも説きます。セミナー開始直前の会場では、メキシコ国立自治大学との共同制作動画の上映があり、絵の具を頭からかぶるパフォーマンスの様子が披露されました (<https://www.cf.ocha.ac.jp/igl/j/menu/event/d014895.html>)。また、在墨邦人向け雑誌の連載記事から、ジェンダーに関連したご自身のエッセイの配布もありました。講演では、お子さんと共に実演中のもの、身を乗り出して聞き入る南米の子供らに囲まれ紙芝居上演中のもの、袈裟をまとって結婚式を授ける様子のもので、満面に笑みを浮かべた人々の写真を数多く見せていただき、エピソードを力強く語っていただきました。終了後は、時間の捻出方法等、多くの質問が寄せられ、横尾氏からは丁寧な回答が得られました。事後アンケートでも、パワフル、刺激を受けた、ものすごいエネルギーをいただいた、充実した時間だった等の感想が寄せられました。



登壇者 横尾 咲子

お茶の水女子大学大学院修士  
NPO法人手をつなぐメキシコと日本理事長  
社団法人豊日本文化館(メキシコ)理事長

事前に読んでみよう！  
動画や記事が観られます。  
当日のレクチャーが楽しくなりますよ！

2024. 10. 16 Wed. 15:00-16:30

会場：国際交流留学生プラザ2F多目的ホール  
対象：本学学生・教職員、一般

参加無料  
要事前申込  
先着順

企画挨拶 西村 純子 お茶の水女子大学グローバルリーダーシップ研究所 所長  
司会 張 潔 お茶の水女子大学グローバルリーダーシップ研究所 特任講師

グローバルリーダーシップ研究所  
<https://www.cf.ocha.ac.jp/igl/index.html>

〒162-8601 東京都文京区湯島1-1-3  
TEL: 03-3812-2111

セミナー詳細



申込はこちらから





### グローバル企業における女性の キャリア形成とワーク・ライフ・バ ランス DE&I 「女性のキャリアと法制度」

公開授業 IGLセミナー共同開催 10月30日

園部 晶子氏 野村ホールディングス(株)  
ファイナンシャルウェルビーイング室長  
「投資とDE&I：企業評価の新しい潮流」  
DE&I室創設者の立場から  
10/30(水) 13:20-14:50  
国際交流留学生プラザ2階 多目的ホール  
対象：本学学生・本学教職員



1991年野村證券入社。5支店で営業職として勤務後、人事を経てD&I推進室、サステナビリティ推進室の初代室長として女性活躍やLGBTQ+対応、育児介護支援、働き方改革を担当し、野村グループにおけるDE&Iの浸透に取り組み。2023年より現職。一女の母。

グローバル企業でのキャリア形成と育児等のワーク・ライフ・バランス、企業の取り組みについて、お話を伺います。また大手日本企業でのDE&Iの創設秘話などを語っていただきます。  
司会：麻生奈央子 グローバルリーダーシップ研究所 特任講師  
参加費無料 事前申し込み不要 問い合わせ：IGL-seminar@cc.ocha.ac.jp

お茶の水女子大学  
Ochanomizu University

詳細はこちら



グローバルリーダーシップ研究所  
<https://www.cf.ocha.ac.jp/igl/index.html>

野村ホールディングス(株)の園部晶子氏をお迎えし、グローバル企業におけるキャリア形成やDEIについてご経験をお話いただきました。入社当時は伝統的性役割観が根強い風潮がある中、様々な試行錯誤や試練を乗り越え、D&I推進室、サステナビリティ推進室の初代室長として女性活躍やLGBTQ+対応、育児介護支援、働き方改革を担当しました。

女性管理職のロールモデルが少ない中、女性管理職の数値目標を決める際、「女性が管理職になりたいのではなく、今の男性と同じ働き方ができないということ」と社内を説得したことや、女性の機会を広げることには「女性に下駄をはかせるのではなく、今まで男性がはいていた下駄を脱がせるだけ」と社内を説得したご経験をテンポよい語り口でお話いただきました。

入社した当初は、家庭的なアットホームな雰囲気だった日本企業が、今は人種や性別を含めたダイバーシティの広がるグローバル企業に変貌

したとのこと。時代の変化の波を「判断するときには、変化する方を選んできた」と、おっしゃった言葉が印象的でした。出産育児の経験は、部下のモチベーションを如何に育てるかという意識が芽生え、タイムマネジメントの能力を身に着けたことにつながったということです。

参加者は大きな関心を寄せて聞き入り、様々な質問が飛び交って議論は大いに盛り上がり、「挑戦する姿勢に感銘を受けた」「素晴らしいロールモデルになった」などの感想が寄せられました。

文責：麻生 奈央子  
(グローバルリーダーシップ研究所 特任講師)



# “International Perspectives on Diversity: Exploring Voter Preferences and Multiracial Coalition-Building in Britain and New York City”

2024年10月31日に、グローバルリーダーシップ研究所はMatthew Hepplewhite氏（オックスフォード大学博士後期課程、東京大学日本学術振興会特別研究員）とKen Silverman氏（ニューヨーク市立大学政治学博士後期課程、国際交流基金特別研究員）にご講演をいただきました。このセミナーでは、西洋の有権者が持つ政治家の社会人口学的特性に対する選好を探り、ニューヨーク市クイーンズ区を事例に、多民族連合の形成と「新たな多数派候補」の台頭を考察しました。Matthew Hepplewhite氏は、英国における政治家の特徴と有権者の選好との間の関連性に焦点を当てました。イギリスで行われた独自の実験結果を含み、実験的研究と選挙データからの洞察が共有されました。Ken Silverman氏は、世界的に最も民族的・言語的に多様な都市部のひとつであるニューヨーク市クイーンズ区の事例を紹介しました。ニューヨーク市議会議員選挙を分析することで、韓国系でもアジア系でもない選挙区で、韓国系アメリカ人候補ジュリー・ウォンが予想外の勝利を収めたことに注目されました。本セミナーでは、多様な民主主義国家における課題と機会に関するディスカッションを通じて、現代の政治システムにおける代表性と包摂性の重要性を議論しました。

文責：張 潔

（グローバルリーダーシップ研究所 特任講師）

グローバルリーダーシップ研究所主催  
IGLセミナー・「ダイバーシティ論」公開授業

お茶の水女子大学  
Ochanomizu University

対象：本学学生・本学教職員  
使用言語：英語

FREE ENTRY!  
参加費無料  
事前申し込み不要

INTERNATIONAL PERSPECTIVES ON DIVERSITY

Exploring Voter Preferences and Multiracial Coalition-Building in Britain and New York City

OCTOBER 31, 2024 10:40-12:10

国際交流留学生プラザ 2F 多目的ホール  
2F, Hisao & Hiroko TAKI PLAZA

グローバルリーダーシップ研究所  
https://www.cf.ocha.ac.jp/index.html

協賛者：IGL-seminar@cc.ocha.ac.jp  
お問い合わせ：https://www.cf.ocha.ac.jp/global/iglsseminar/event/0015261.html

Guest speaker  
MATTHEW HEPPLEWHITE  
Postdoctoral Fellow, JSPS

Guest speaker  
KEN SILVERMAN  
Japan Foundation Japan Studies Fellow



# 「グローバル企業における女性のキャリア形成とワーク・ライフ・バランス」

**グローバル企業における女性のキャリア形成とワーク・ライフ・バランス**

「女性のキャリアと法制度」公開授業  
IGLセミナー共同開催 11月6日

井上 惠理氏  
日本テキサス・インスツルメンツ合同会社  
法務知的財産部 シニア・カウンセラー・マネジャー  
NY州弁護士

11/6 (水) 13:20-14:50  
国際交流留学生プラザ2階多目的ホール  
参加費無料 事前申し込み不要

略歴：高1で単身渡米後、ボーディングスクールに進学。大学で国際関係を専攻。法科大学院・修士（国際政治学）課程修了後、日本に帰国し、国内化学メーカー、ドイツ系車部品メーカーを経て現職。1女1男の母。

本授業は、卒業後にワーク・ライフ・バランスを考えたキャリアを着実に身に付けることができるように学生たちが主体的に考える授業です。グローバル企業でのキャリア形成と育児等のワーク・ライフ・バランスについて、お話を伺います。  
司会：麻生奈央子 グローバルリーダーシップ研究所 特任講師  
問い合わせ：IGL-seminar@cc.ocha.ac.jp

お茶の水女子大学  
Ochanomizu University

詳細はこちら  
https://www.cf.ocha.ac.jp/index.html

グローバルリーダーシップ研究所  
https://www.cf.ocha.ac.jp/index.html

日本テキサス・インスツルメンツ合同会社法務知的財産部シニア・カウンセラー・マネジャーの井上惠理氏（NY州弁護士）をお迎えし、グローバル企業におけるキャリア形成とワークライフバランスについてご経験をお話いただきました。

高校1年生で単身渡米してボーディングスクールに進学、アメリカで法科大学院・修士課程（国際政治学）を修了なさいました。日本に帰国後は国内化学メーカー、ドイツ系車部品メーカーを経て、現職です。アメリカの高校生活に始まり、大学、ロースクール、修士課程を通じて徹底的に読む力を養ったこと、また、ロースクール時代の夏休みを使ってチリに2か月滞在したことなどをお話いただきました。

学生時代から国外の情報や世界を見ることを大切にし、仕事では最初から100%の完全を目指さず、周りとの関係性を築き、自分のやりたいことを適切に主張しながらチャレンジを続けてきました。世界中の多様な国籍の同僚や上司とコンタクトを楽しみ、仲間からの感謝が動機づけにつながることや、現場を知ることの大切さをお話してくださいました。性別や国籍、年齢に関係なく「個人」をみるスタイルの米国系企業が自分に合っていること、中学生二人の母親としての育児経験は、部下を育てる管理職としての職責に似ていることや、家庭でのパートナーとの役割分担など多様な観点からご経験を語っていただきました。

参加した学生や教員から多くの質問が飛び交い、活発な議論に発展し、参加者からは「情熱にひきこまれた」「活気あふれていてかっこいい」「生き生きとした講演に魅了された」などの感想が寄せられ、実りある貴重な時間をすごしました。

文責：麻生 奈央子

（グローバルリーダーシップ研究所 特任講師）

“Multicultural Coexistence and Development of Leadership under Globalization”  
 (「グローバル化のもとでの多文化共生とリーダーシップ」)



2024年11月15日、IGL国際シンポジウム「グローバル化のもとでの多文化共生とリーダーシップ」が開催されました。本シンポジウムは、移民、ジェンダー、リーダーシップに関する課題に焦点を当て、多文化共生社会の発展とリーダーシップの在り方を探ることを目的としました。

本シンポジウムでは、まずチューリッヒ大学のヘレナ・ホフ博士が「ハイテクスタートアップにおけるジェンダーダイナミクス」というテーマで講演しました。ホフ博士は、東京で活動する外国人起業家へのインタビュー調査に基づいて、外国人女性起業家が直面する「三重の不利」(女性、移民、外国人)について分析しました。次に、インディアナ大学のヒラリー・J・ホルブロー博士が「エリート日本企業における(不可視の)不平等」をテーマに発表しました。ホルブロー博士は、

ジェンダーが移民の出身地以上に不平等の主因であると指摘し、女性が職場で直面する具体的な課題を明らかにしました。最後に、早稲田大学のファーラー・グラシア先生が日本の移民政策の現状と、移民が社会経済に果たす重要な役割について分析しました。本シンポジウムは、多文化共生とリーダーシップの発展に関する課題に取り組むための実践的な視点を提供し、参加者にとって貴重な学びと交流の場となりました。

文責:張 潔  
 (グローバルリーダーシップ研究所 特任講師)

IGLセミナー

「女性のキャリア形成 ~弁理士・知財業界の世界~」

2024年12月5日に開催されたIGLセミナー兼「ダイバーシティ論」公開授業では、弁理士の金田有美子氏をお迎えし、「弁理士・知財業界の世界」をテーマに講演が行われました。まず、金田氏の自己紹介として、理系出身から弁理士資格取得に至るまでのキャリア形成が紹介されました。次に、知財業界と弁理士の役割について具体的な事例を交えた解説がありました。スターバックスの商標権やPayPayの特許技術を例に、知的財産権がブランド保護や競争力向上にどのように寄与するかを説明いただきました。また、弁理士が果たす業務内容として、クライアントとの打ち合わせや特許庁への手続き代行などが挙げられました。さらに、女性のキャリア形成に焦点を当てたセッションでは、育児とキャリアの両立をテーマに議論が展開されました。金田氏自身の経験談や業界内での女性の活躍事例が共有され、学生からも積極

的な質問が寄せられました。最後のフリーディスカッションでは、参加者が将来のキャリアや現状の悩みについて意見を交換し、多様なキャリアパスの可能性について考える機会となりました。本セミナーを通じて、知財業界の具体的な内容やキャリア形成における重要な視点が提供され、参加者にとって将来を考える上で非常に有意義な学びの場となりました。

文責:張 潔  
 (グローバルリーダーシップ研究所 特任講師)



## IGLセミナー

### 「ジェンダー平等社会の実現を目指して

：縮まらないジェンダー格差：要因と未来への道筋 ジェンダー法学の視座から」



三成美保氏(追手門学院大学教授)をお招きしたIGLセミナーには172名が参加しました。三成氏によれば、日本はかつて法的平等の先進国でした。憲法第24条は近代的家父長制を否定し、個人の創出と公私にわたる男女平等を目指すものでした。しかし、ジェンダーバックラッシュ、経済停滞と少子化が重なり家族主義や宗教右派の強まりで日本のジェンダー平等実現が阻まれ、頓挫してしまった過程を解説いただきました。三成氏によれば、2006年に教育基本改定に家族主義が盛り込まれてジェンダー平等が後退した後、民主党政権下でその家族主義が再否定されたものの、2012年に自民党の復権で再び憲法第24条に家族主義の復活が盛り込まれた憲法改定案(2012)が議論され、日本のジェンダー平等はふたたび停滞の一途をたどりました。

三成氏は未来に向けて、3つのバイアス壁(社会・家族・自分の心の壁)を取り除く必要があると主張しました。そのために、関連法案の改正や人権の法整備、クォーター制の導入など政治の場における男女均等法の強化が不可欠です。人間は本質的に「ケアされる弱い存在」とであるという前提に立ち、ケアを女性に任せる「自助」ではなく、「公助」というシステムの確立を訴えました。そして、法制度の改革によって、人々が「あたりまえの呪縛」から解放され意識が変化し、その「意識」が社会変革を生み出す可能性を述べてジェンダー平等実現に向けての道筋を示してくださいました。参加者からは「ひきこまれた」「包括的な客観的な指標で現状をよく理解できた」「自分の中にある家族主義に気づきがあった」「多角的な取り組みが必要とわかった」など新たな視点や学びがあったことや、三成氏の力強いメッセージに多くの感動の声が寄せられました。

文責：麻生 奈央子

(グローバルリーダーシップ研究所 特任講師)



## IGLセミナー

### 「ジェンダー格差はなぜ維持されるのか

：社会心理学の視点から格差維持の心の仕組みを考えてみる」

広島文教大学教授の森永康子氏をお招きしてご講演いただきました。森永氏は「私たちは(喜んで)格差を受け入れてしまう傾向がある」と本日の結論を最初に説き、ジェンダー格差是正の取り組みにおいて「なぜ私たちは50%ではなく30%で満足してしまうのか?」と問いかけました。

社会心理学に「システム正当化理論」があります。人々は現状維持に動機づけられており、現状を肯定することで心理的安寧を得るという理論です。森永氏は、日本で女性が格差社会における性役割を受け入れ肯定化することで、幸福感を感じている可能性を検討したご自身の実証研究を解説しました。

また好意的性差別のご研究も紹介いただきました。同差別は、表面的にはポジティブで一見温情的ではあるゆえに差別とは認識されにくいものの、「女性は弱い」「女性は仕事ができない(無能だ)」とのステレオタイプが根底にあることが特徴です。森永氏は、数学の成績で高得点をとった女子高校生に「女の子なのにすごいね」と褒めた群と、「すごいね」と褒めた群を比較しました。その結果、前者の女子生徒の意欲が低下したという心理学実験の結果を紹介しました。同差別は女性の自信や意欲を失わせ、あからさまで敵対的な性差別よりも時に悪影響をもたらす可能性があるといえます。講演後に「一言増えるだけでこんなに違うんだと驚いた」「学びが深まった」「ハッとさせられた」「衝撃を受けた」と感想が寄せられました。100名近い参加者が森永氏の丁寧で詳しい解説に聞き入り、多くの学びを得て、参加者は実りある時間を共有しました。



文責：麻生 奈央子

(グローバルリーダーシップ研究所 特任講師)

## グローバル・リーダーシップ実習 I・II



本授業は、実践的な学びを通じてリーダーシップスキルを育成することを目的としています。「I」では、日本語および英語での講義が行われました。講義やワークショップの後、1月上旬には、お茶大生が協力しながら交流イベントを企画・実施し、ゲームやディスカッションを通じて相互理解を深めました。「II」では、イタリアのコッレージョ・ヌオーヴォにて、ソフト・スキルを磨く実習を行いました。

今年度は、11名の学生が参加し、2月17日から2月28日までの期間、現地での研修に取り組みました。研修では、イタリア人講師による英語での授業を受講し、さらにパヴィアで活躍する女性リーダー3名を訪問しました。最終日には、コッレージョ・ヌオーヴォの学長や関係者の前で、グループごとのプレゼンテーションを実施しました。また、コッレージョ・ヌオーヴォの学生との交流会や、週末の近隣都市訪問も学生が主体となって計画・実行し、多文化環境におけるリーダーシップとチームワークの実践的な学びを深めました。

文責：張 潔  
(グローバルリーダーシップ研究所 特任講師)

## ダイバーシティ論

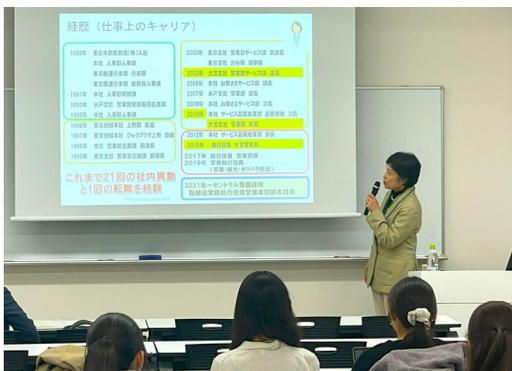
今年度の授業では、新たな試みとして「ダイバーシティ」を単なる概念として捉えるのではなく、その背景にある「差別」や「ステレオタイプ」といった問題に焦点を当てることを重視しました。特に、日本と世界におけるマイノリティの歴史や現状を深く理解するために、各国の事例を比較しながら学びました。

また、授業の一環として、イギリスとアメリカの選挙制度や働き方の多様性に関するセミナーを開催しました。異なる政治・社会システムにおけるダイバーシティの実践につ

いて議論し、学生たちは多様な視点から現代社会の課題について考察を深めました。さらに、今年度の最終発表では、学生たちがそれぞれの視点から「ダイバーシティ」をテーマに掘り下げたプレゼンテーションを行いました。学生同士の活発な議論も見られ、多様性についての理解を深める機会となりました。

文責：張 潔  
(グローバルリーダーシップ研究所 特任講師)

## 女性のキャリアと経済



今年度の本講座は担当教員による講義と外部ゲストによる講演をミックスする形で行われました(履修登録者は22名)。このうち教員による講義では、社会環境が大きく変化している中で、学生がどのような職業分野に進んでも活用し得る社会経済リテラシーを学ぶ点に主眼を置き、経済、法律、社会心理、情報・データ分析などの分野から、予備知識の少ない学生にも理解しやすい今日的なトピックを選んで議論しました。また、外部ゲストの講演では大手企業、中央官庁、監査法人などから幹部クラス

の考え方、キャリア形成の中で直面した試練への対処、健康問題も含めたワーク・ライフ・バランスのあり方など、実体験に裏付けられた熱度の高い講話をフランクに伺いました。講演後の質疑応答も活発で、学生にとっては机上の学習だけでは得られにくい内容を具体的なイメージをもって感得する貴重な機会になったと思われます。

文責：松下 顕  
(グローバルリーダーシップ研究所 客員教授)

## 女性のキャリアと法制度

本授業はジェンダーの視点から女性のキャリア形成に関わる諸問題について主体的に考えることを目的とするキャリアデザインプログラムの基幹科目です。

今期は6名のゲストをお迎えしました。最初にグローバル企業で管理職を務める女性3名に、キャリア形成と育児、ワークライフバランスについてお話いただきました。次に法律家をお招きし、ハラスメント、育児休業、男女の賃金格差等について学びました。最後に森永康子氏(社会心理学)と三成美保氏(ジェンダー法学)の二人の専門家をお招きして学びを深めました。

心理学的アプローチを使った自己分析やグループワークを行い、受講生は自己理解を深めて自身の強みを

生かしたキャリア形成について考えました。受講生は1年生から4年生まで35名で、多様な観点から議論と対話を通じて新しい視点と価値観を見出す機会となりました。受講生が本授業で得た学びを、将来のキャリア形成に活用してくれることを期待しています。

文責：麻生 奈央子  
(グローバルリーダーシップ研究所 特任講師)



## アカデミック女性リーダーへの道(応用編) 1/29, 30, 31

大学院後期集中講義として開講している「アカデミック女性リーダーへの道(応用編)」は日本学術振興会特別研究員を目指す院生のための準備講座です。本講座は3日間(1月29日、1月30日、1月31日)のプログラムで構成され、初日は日本学術振興会の審査委員経験のある学内教員および学振特別研究員による講義から審査・申請の際のポイントを学びました。2日目には、講義を聞いて作成した仮申請書類に対する個別指導を受け、3日目のプレゼンテーション講座では自身の研究内容を効果的に伝える実践力を磨きました。次年度の学振特別研究員の申請に向けた体系的な準備ができること、他領域・専門外の人にも自身の研究を説明するプレゼン力が磨かれることから、実践的な講座として受講生からも好評を得ています。また本講座を修了した院生のなかから、毎年学振特別研究員が誕生しており、授業の有効性も裏付けられています。本授業は次年度も開講予定です。院生の皆さんの積極的な参加を歓迎します。

文責：麻生 奈央子  
(グローバルリーダーシップ研究所 特任講師)


**お茶の水女子大学**  
 Ochanomizu University

2024年度 後期・集中講座履修者募集

アカデミック女性リーダーへの道

【対象】博士前期課程・後期課程の学生 (応用編)

---

**学振特別研究員を目指している皆さん必見!**

研究計画・資金調達・プレゼンのコツを学んで採用される確率を上げましょう!

---

**2025年1月29日(水) 10:00~16:30** \*対面授業 理3-701室  
 ・審査委員経験者等による講義  
 ・日本学術振興会特別研究員による体験談および討論

**2025年1月30日(木) 10:00~16:30** \*対面またはオンライン 人間文化棟-508室  
 ・応募書類作成実践...教員・学振特別研究員からの個別アドバイスあり

**2025年1月31日(金) 9:00~17:00** \*対面またはオンライン 本館-103室 (生活科学部会講室)  
 ・魅せるプレゼンテーションスキルアップ講座  
 横達安奈先生(東京大学大学院情報学環 助教)

---

\*注意事項\*  
 ・履修者(単位取得希望者)は必ず三日間出席してください。  
 ・他の授業や試験と重複しないよう必ずご確認ください。  
 ・初日のみ聴講可能です。聴講希望の方はこちらのQRコードからお申込みください。

**お問合せ先：お茶の水女子大学**  
 グローバルリーダーシップ研究所  
 e-mail: igl-jugyo@cc.ocha.ac.jp

お茶の水女子大学のリーダーシップ養成に関する研究及び教育の拠点であり、男女共同参画推進の実施組織であるグローバルリーダーシップ研究所が提供する予定の授業のご紹介です。積極的な受講をお待ちしています。  
(CDP:キャリアデザインプログラム(CDP) 基幹科目の授業です)

対象	科目名 【授業コード】	単 位	開講 時期	授業の概要
学部生	お茶の水女子大学論 【25A0019】 【CDP】	2	前期 水曜 9・10限	お茶大の歴史を学び、お茶大の今を知り、自らの未来を描くための授業です。以下の要素から成り立ちます。 ・ お茶大の歴史、お茶大生の特徴、学内のインターンシッププログラムの紹介 ・ 学長講演 ・ 特別講演 ・ お茶大卒業生のロールモデル講演 ・ 企業や起業の基礎に関する講義
学部生	総合コース 【25A0034】【CDP】	2	前期 集中	アクセンチュア株式会社協力のもと、本学卒業生を含む同社社員による講義や、社員と学生とのグループワークを通して、仕事、キャリア、グローバル人材とは何かについて学び考え、自らのキャリアプランを考えることを目的としています。
大学院生	キャリア開発特論(基礎編) 【25S2006】【CDP】			
学部生	グローバル・リーダーシップ 実習Ⅰ【25B2099】 【CDP】	2	後期 不定期	授業で学んだリーダーシップスキルを実践できるように、大学の内外で提供される様々な機会を活用し、社会やコミュニティとのつながりのなかで国連サミットが掲げるSDGsのような現代的諸課題を意識しながら自らのテーマを見出し、自己の成長にとどまることのない、より広い意味でのリーダーシップを探求します。グローバル・リーダーシップ実習Ⅱではイタリアに実習に行きます。
学部生	グローバル・リーダーシップ 実習Ⅱ【25B2100】 【CDP】			
学部生	女性のキャリアと経済 【25N0092】 【CDP】	2	後期 火曜 9・10限	変化の激しい現在、社会の第一線で活躍するゲスト講師の講演も交えながら、女性のキャリア形成を取り巻く社会・経済の諸問題や関連知識を幅広く主体的に議論する授業です。
学部 2~4年生	ダイバーシティ論 【25N0095】 【CDP】	2	後期 金曜 3・4限	特に組織におけるダイバーシティに焦点を当てながら女性のリーダーシップについても学びます。ダイバーシティを推し進めるにはどのような「仕組み」が有効なのか、アクティブ・ラーニングやインタラクティブな授業を通じて履修生と一緒に考えます。
大学院生	アカデミック女性リーダー への道(応用編) 【25S0133】	2	後期 集中	研究申請およびプレゼンテーションにおける知識、スキルを高める授業です。日本学術振興会(学振)の審査経験のある教員・学振特別研究員からの講義、仮の申請書類の作成実習、プレゼンテーション実習などを含みます。

※開講日程や講義詳細はシラバス【授業コード】をご覧ください。

※履修登録については、学務課へお問合せください。

大学院生、  
ポスドク向け

# 海外調査研究や 国際学会発表を 予定している皆さん!

## 「若手研究者支援」応募説明会

2025年4月10日(木) 12:30~13:00  
②オンライン (Zoom)

※応募される方は原則ご出席下さい。

説明会出席申込フォーム



申込が切: 4/9 (水) 12時

	【海外調査研究】	【国際学会発表】
支援対象	現地における文献や資料の調査、フィールドワーク、新しい研究・実験手法の修得、国内では困難な実験や装置使用などにかかる渡航費(上限30万円)	海外で開催される国際学会での研究成果発表、講演、ポスター発表等、本人が発表するものにかかる渡航費(上限30万円)
対象者	大学院博士後期課程学生、ポスドク、研究者等(ただし、条件あり)	
支援期間	2025年6月2日(月)以降に出発し2026年2月27日(金)に帰国することが可能な調査等	
応募期間	2025年4月14日(月)9:00~5月7日(水)23:59	

【問合せ先】グローバルリーダーシップ研究所「若手研究者支援」事務局  
E-mail: wakate-shien@cc.ocha.ac.jp

大学院生・ポスドクの皆さんの研究を  
応援します!

グローバルリーダーシップ研究所では、国際的に活躍する女性研究者の育成を目的として、本学の大学院博士後期課程学生、ポスドク研究者等の海外調査研究や国際学会等での発表に対し、海外渡航費の支援を行います。応募される方は4月10日(木)12:20~12:50(オンライン)に実施する【応募者向け説明会】に必ず出席してください。

これまで多くの方々から「若手研究者支援」を活用していただきました。今年度もこの支援をとおして、研究活動の場を広げていただければと思います。多くの皆さまのご応募をお待ちしております。

文責: 倉脇 雅子  
(グローバルリーダーシップ研究所  
特任アソシエイトフェロー)

応募者向け説明会の  
お申込みはこちらから▶



## イベント開催

### J-Win主催「企業の女性リーダーを身近で知るチャンス!」

グローバルリーダーシップ研究所では、女性リーダー育成のための教育プログラムのさらなる充実を目指して、2025年度にNPO法人J-Winによる学生向け講座開講を企画しています。

2025年度の講座開講に先立ち、NPO法人J-Winによる学生のみなさんと作り上げるイベントを開催します。

【日時】2025年3月25日(火) 16時半-18時半

【会場】浅草橋ヒューリックホール

## 新しい図書が入りました

グローバルリーダーシップ研究所では毎年新しい図書を購入し、学生・教職員の皆様にご活用いただいております。

今年度も研究所から推薦された18冊が、大学附属図書館2階の「リーダーシップ関連」の書棚に配架されました。

ぜひ大学生活にお役立てください。

2024年度  
購入図書の一部



大学附属図書館 2F  
リーダーシップ関連書棚

